

戦略企画会議から

Progress Report from the Strategic Planning Committee

日本眼科学会ホームページの改訂について

現在の日本眼科学会ホームページ(HP)は作成からかなりの年月が経過しており、堅牢性や利便性の面でさまざまな問題を抱えています。そこで、このたび下記のメンバーでワーキンググループを組織し、HPの全面改訂を行うことになりました(表)。新しいホームページでは、会員・会員以外の医師や医学生、ならびに一般の人に向けて、安定・迅速・的確・安価に情報発信ができることを目的に作業を進めています。本稿では新しいホームページの概要や作業の進捗についてご報告させていただきます。

まず、HPの改訂および保守業務を依頼する企業をコンペにて1社に決定しました。現在、その企業の担当者にも参加してもらい、週1回のペースで検討会議を開催しています。新しいHPは、安定・堅牢なサーバー内にデータを置き、災害などにも強くセキュリティの高いものであることはもちろんのこと、洗練されたデザインで、かつスマートフォンからや視覚障害者の方でも閲覧しやすい利便性の高いものにいたします。現在のHPでは更新作業を逐次外注していますが、新しいHPでは専門的知識がなくてもコンテンツを管理できる contents management system(CMS)機能を導入するため、事務局内で簡単に更新作業ができるようになります。つまり、これまでより迅速かつ安価な情報の配信が可能となります。コンペでも、自社

で商用CMSを開発している技術力の高さが企業を選定する決め手の一つとなりました。日本眼科学会の目的は、その定款にも定められているように「眼科学の進歩発展を図り、もって人類・社会の福祉に貢献すること」であり、HPは知りたい人に知りたい情報を正確に届けるための非常に有用なツールとなります。そういった意味でYahooやGoogleなどの検索エンジンで見つけられやすいSEO対策や、利用者の多いページと反対にたどり着きにくいページを見極めるための詳細なアクセスログ解析にもしっかりと取り組みたいと考えます。

検討会議では、「会員のみなさまへ」、「学生・研修医のみなさまへ」、「一般のみなさまへ」、「眼科専門医制度」、「英語版ページ」の各大項目の下部に設置するコンテンツの大枠が決定しつつあります。現在のHPで最もアクセス数が高いのが「一般のみなさまへ」の中にある「目の病気」のコーナーです。「目の病気」では、病名ごとにその詳しい解説をしています。初診前の患者さんは自分の自覚症状がどの病気によるものかわかりません。したがって、例えば、「ピントが合わない」、「眩しい」、「歪んで見える」、「目が痒い」、「白目が充血している」などの自覚症状からも、原因となっている可能性のある病名にたどり着けて、適切な受診を促すようにする必要がありますと考えています。

表 ホームページ改訂ワーキンググループ委員一覧(敬称略)

委員長	記録理事(戦略第三委員会担当兼任)	吉富 健志
副委員長	渉外理事	辻川 明孝
委 員	専門医制度委員会	庄司 信行
		堀田 喜裕
	戦略第一委員会「人材育成・専門医制度」	篠田 啓
	戦略第二委員会「国際化・研究」	白井 智彦
	戦略第四委員会「政策提言活動と啓発活動」	門之園一明
		瓶井 資弘
	戦略第五委員会「次世代医療」	安川 力
	総集会プログラム委員会	稲谷 大
	若手・女性医師代表	白井 嘉彦
		木村亜紀子

一方、医学生や研修医のページでは画像、イラストなどを多用することで眼科の特色や魅力をビジュアル的に訴えかけるものにしたいと考えています。来春の公開を目指して鋭意作業を進めておりますので、引き続きご協力のほど、お願い申し上げます。

なお、会員専用ページは、現在こちらも全面改築中の会員管理データベースシステムと連動させる必要が

あるため、ログインの必要がないページよりは改訂後の公開が遅くなりますが、ご自分の会員情報や取得単位など専門医に関する情報をリアルタイムで閲覧できるうえ、これまで紙ベースであった学会への各種申請・手続きをオンラインで簡便に行えるようにしたいと考えています。どうぞご期待ください。